

新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) / 新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド (毎月決算型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	約10年間（2011年2月25日～2021年2月8日）		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	新興国ソブリン・豪ドルファンド （毎月決算型）	1. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・ファンド・シリーズ・ダイワ新興国債券ファンド（毎月分配型）日本円建 豪ドル・ヘッジクラス」（以下「ダイワ新興国債券ファンド（AUDクラス）」といいます。）の受益証券（円建） 2. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券	
	新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド （毎月決算型）	1. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・ファンド・シリーズ・ダイワ新興国債券ファンド（毎月分配型）日本円建 ブラジル・リアル・ヘッジクラス」（以下「ダイワ新興国債券ファンド（BRLクラス）」といいます。）の受益証券（円建） 2. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券	
運用方法	新興国ソブリン・豪ドルファンド （毎月決算型）	①主として、ダイワ新興国債券ファンド（AUDクラス）の受益証券を通じて、新興国の国家機関（政府関係機関・州等を含みます。）が発行する米ドル建ての債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、ダイワ新興国債券ファンド（AUDクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ダイワ新興国債券ファンド（AUDクラス）への投資割合は、通常の状態では高位に維持することを基本とします。 ③ダイワ新興国債券ファンド（AUDクラス）では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行ないます。	
	新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド （毎月決算型）	①主として、ダイワ新興国債券ファンド（BRLクラス）の受益証券を通じて、新興国の国家機関（政府関係機関・州等を含みます。）が発行する米ドル建ての債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、ダイワ新興国債券ファンド（BRLクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ダイワ新興国債券ファンド（BRLクラス）への投資割合は、通常の状態では高位に維持することを基本とします。 ③ダイワ新興国債券ファンド（BRLクラス）では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。	
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

運用報告書（全体版）

第42期（決算日 2014年9月8日）
第43期（決算日 2014年10月6日）
第44期（決算日 2014年11月6日）
第45期（決算日 2014年12月8日）
第46期（決算日 2015年1月6日）
第47期（決算日 2015年2月6日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）／新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド（毎月決算型）」は、このたび、第47期の決算を行ないました。

ここに、第42期～第47期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3120>

<3121>

新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）

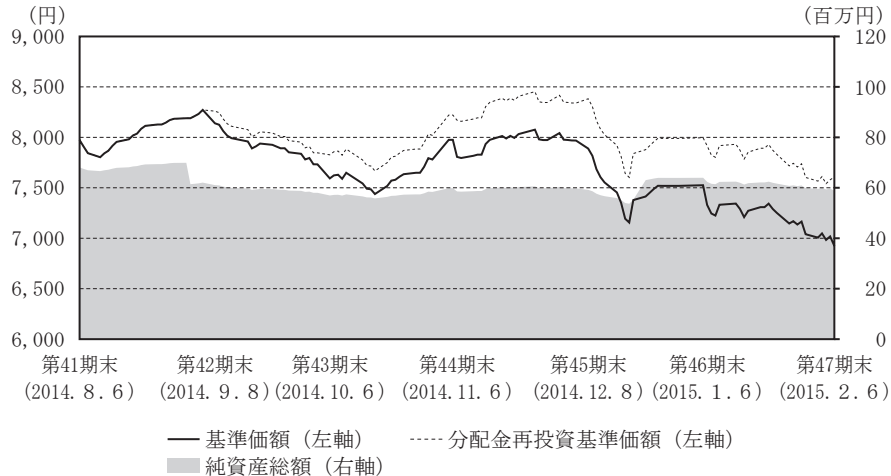
★新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）

■最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			JPモルガン・エマーゾング・ マーケット・ボンド・インデックス・プラス (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 金 分 配	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
18期末(2012年9月6日)	12,111	30	△ 2.5	12,507	0.8	79.96	△3.7	0.0	99.5	12
19期末(2012年10月9日)	12,485	30	3.3	12,748	1.9	80.07	0.1	0.0	99.6	12
20期末(2012年11月6日)	12,855	30	3.2	12,756	0.1	83.23	3.9	0.0	99.4	12
21期末(2012年12月6日)	13,549	30	5.6	12,960	1.6	86.28	3.7	0.0	99.5	13
22期末(2013年1月7日)	14,617	30	8.1	13,049	0.7	92.29	7.0	0.0	99.5	14
23期末(2013年2月6日)	14,990	30	2.8	12,723	△2.5	97.10	5.2	0.0	99.5	14
24期末(2013年3月6日)	14,791	30	△ 1.1	12,771	0.4	95.70	△1.4	0.0	99.4	14
25期末(2013年4月8日)	15,620	30	5.8	12,899	1.0	102.19	6.8	0.0	99.2	15
26期末(2013年5月7日)	※10,956	120	※ 1.3	13,081	1.4	101.53	△0.6	0.0	98.5	15
27期末(2013年6月6日)	9,661	120	△10.7	12,362	△5.5	94.18	△7.2	0.0	97.8	32
28期末(2013年7月8日)	8,685	120	△ 8.9	11,785	△4.7	91.70	△2.6	0.0	99.0	29
29期末(2013年8月6日)	8,231	120	△ 3.8	11,888	0.9	87.40	△4.7	0.0	81.0	49
30期末(2013年9月6日)	8,127	120	0.2	11,424	△3.9	91.36	4.5	0.0	98.9	49
31期末(2013年10月7日)	8,299	120	3.6	11,911	4.3	91.86	0.5	0.0	98.9	50
32期末(2013年11月6日)	8,466	120	3.5	12,019	0.9	93.64	1.9	0.0	99.1	65
33期末(2013年12月6日)	7,999	120	△ 4.1	11,787	△1.9	92.39	△1.3	0.0	99.0	62
34期末(2014年1月6日)	8,091	120	2.7	11,946	1.3	93.98	1.7	0.0	99.0	63
35期末(2014年2月6日)	7,663	120	△ 3.8	11,855	△0.8	91.15	△3.0	0.0	96.9	54
36期末(2014年3月6日)	7,840	120	3.9	12,188	2.8	92.44	1.4	0.0	96.8	56
37期末(2014年4月7日)	8,188	120	6.0	12,453	2.2	95.82	3.7	0.0	96.8	58
38期末(2014年5月7日)	8,067	120	△ 0.0	12,674	1.8	94.98	△0.9	0.0	98.4	57
39期末(2014年6月6日)	8,175	120	2.8	12,948	2.2	95.51	0.6	0.0	97.3	64
40期末(2014年7月7日)	8,120	120	0.8	13,054	0.8	95.56	0.1	0.0	98.4	67
41期末(2014年8月6日)	7,973	120	△ 0.3	12,942	△0.9	95.38	△0.2	0.0	98.6	68
42期末(2014年9月8日)	8,139	120	3.6	13,111	1.3	98.39	3.2	0.0	97.5	61
43期末(2014年10月6日)	7,593	120	△ 5.2	12,803	△2.4	95.19	△3.3	0.0	97.3	56
44期末(2014年11月6日)	7,806	120	4.4	12,964	1.3	98.21	3.2	0.0	97.3	58
45期末(2014年12月8日)	7,889	120	2.6	12,863	△0.8	101.00	2.8	0.0	98.9	59
46期末(2015年1月6日)	7,330	120	△ 5.6	12,553	△2.4	96.78	△4.2	0.0	96.9	62
47期末(2015年2月6日)	6,924	120	△ 3.9	12,844	2.3	92.04	△4.9	0.0	98.5	58

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注2) JPモルガン・エマーゾング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（米ドルベース）は、JPモルガン・エマーゾング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（米ドルベース）の原指数をもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPモルガン・エマーゾング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（米ドルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
※2013年4月26日に受益権7口に対して10口の割合で分割を行ないました。第26期末の基準価額は受益権の分割の影響を受けています。また、第26期末の期中騰落率は、受益権の分割が基準価額に与えた影響を除いた数値です。

■ 当作成期間（第42期～第47期）中の基準価額と市況の推移



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（米ドルベース）		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第42期	(期首) 2014年 8 月 6 日	7,973	% —	12,942	% —	95.38	% —	0.0	% 98.6
	8 月末	8,184	2.6	13,152	1.6	97.03	1.7	0.0	98.7
	(期末) 2014年 9 月 8 日	8,259	3.6	13,111	1.3	98.39	3.2	0.0	97.5
第43期	(期首) 2014年 9 月 8 日	8,139	—	13,111	—	98.39	—	0.0	97.5
	9 月末	7,781	△4.4	12,838	△2.1	95.19	△3.3	0.0	95.8
	(期末) 2014年10月 6 日	7,713	△5.2	12,803	△2.4	95.19	△3.3	0.0	97.3
第44期	(期首) 2014年10月 6 日	7,593	—	12,803	—	95.19	—	0.0	97.3
	10 月末	7,780	2.5	13,054	2.0	96.47	1.3	0.0	95.7
	(期末) 2014年11月 6 日	7,926	4.4	12,964	1.3	98.21	3.2	0.0	97.3
第45期	(期首) 2014年11月 6 日	7,806	—	12,964	—	98.21	—	0.0	97.3
	11 月末	7,973	2.1	12,998	0.3	100.71	2.5	0.0	97.4
	(期末) 2014年12月 8 日	8,009	2.6	12,863	△0.8	101.00	2.8	0.0	98.9
第46期	(期首) 2014年12月 8 日	7,889	—	12,863	—	101.00	—	0.0	98.9
	12 月末	7,519	△4.7	12,694	△1.3	98.07	△2.9	0.0	95.3
	(期末) 2015年 1 月 6 日	7,450	△5.6	12,553	△2.4	96.78	△4.2	0.0	96.9
第47期	(期首) 2015年 1 月 6 日	7,330	—	12,553	—	96.78	—	0.0	96.9
	1 月末	7,040	△4.0	12,747	1.5	92.06	△4.9	0.0	96.8
	(期末) 2015年 2 月 6 日	7,044	△3.9	12,844	2.3	92.04	△4.9	0.0	98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

第42期首：7,973円 第47期末：6,924円（既払分配金720円） 騰落率：△4.6%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

米ドル建て新興国債券からの利息収入と米ドル売り／豪ドル買いの為替ヘッジプレミアム（金利差相当分の収益）が基準価額の値上がり寄与した一方で、米ドル建て新興国債券価格の下落と豪ドルの対円での下落が基準価額の値下がり要因となりました。

◆投資環境について

○米ドル建て新興国債券市況

米ドル建て新興国債券はマイナスの収益となりました。世界的な需要減とシェール・オイル生産増を背景に原油価格の大幅な下落傾向が続き、資源価格全体でも下落傾向となる中で、資源輸出依存度の高い新興国債券市況は軟調な推移となりました。資源純輸入国や欧州の金融緩和の恩恵を受けやすい中東欧諸国では比較的堅調な推移となったものの、ウクライナ情勢悪化による地政学リスクの高まりやベネズエラの債務不履行懸念等がセンチメントの悪化につながったことで、全体として見ると米ドル建て新興国債券価格は下落（利回りは上昇）しました。一方で、米国は量的金融緩和政策を終了したものの、米ドル高や資源価格安による期待インフレ率の低下、世界的な金融緩和傾向による金利低下圧力、リスクセンチメントの悪化を受けて米国債価格が上昇（利回りは低下）した結果、新興国債券と米国債との利回り格差は拡大しました。

○為替相場

豪ドルは対円で下落しました。日本の追加金融緩和政策を受けた円安により、一時豪ドル円は上昇傾向となりましたが、中国経済への懸念、資源価格下落の影響、RBA（オーストラリア準備銀行）の利下げ観測の高まりから豪ドル売り圧力が強まる展開となり、豪ドル円は下落しました。

○短期金利市況

オーストラリアでは、景気・物価見通しの引下げに伴い2015年2月に0.25%ポイントの利下げを行ない、政策金利は2.25%となりました。この間、FRB（米国連邦準備制度理事会）は政策金利を据え置いたことから、豪ドルの短期金利が米ドルの短期金利を上回る状況が継続しました。

◆前作成期間末における「今後の運用方針」

「ダイワ・ファンド・シリーズダイワ新興国債券ファンド（毎月分配型）日本円建 豪ドル・ヘッジクラス」（以下「ダイワ新興国債券ファンド（AUDクラス）」といいます。）への投資割合を高位に維持することによって、米ドル建て新興国債券からの収益を享受するとともに、豪ドルの為替値上がり益の獲得をめざします。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、ダイワ新興国債券ファンド（AUDクラス）の受益証券とダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期間を通じてダイワ新興国債券ファンド（AUDクラス）の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

○ダイワ新興国債券ファンド（AUDクラス）

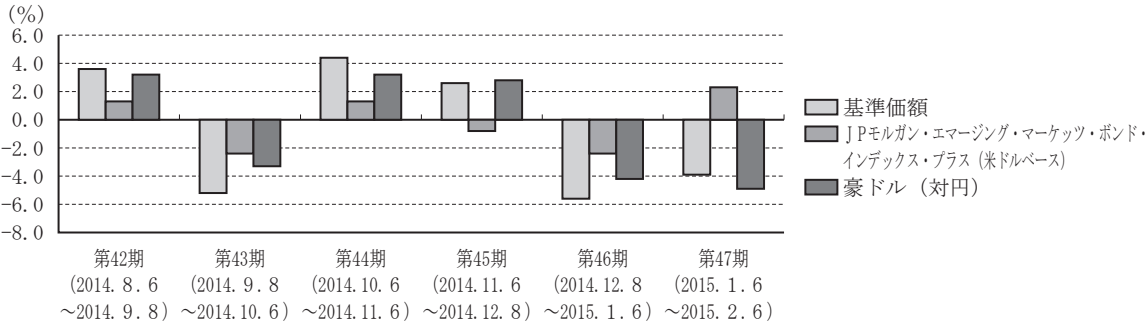
米ドル建ての新興国債券に投資しました。国別配分、年限構成の決定については、各国の経済情勢および信用力等を考慮し、投資対象銘柄の決定については、各銘柄の流動性、利回り水準等を考慮しました。また、債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで6（年）～8（年）程度の範囲でコントロールし、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行ないました。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



◆分配金について

【収益分配金】

第42期から第47期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ120円といたしました。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2014年8月7日 ～2014年9月8日	2014年9月9日 ～2014年10月6日	2014年10月7日 ～2014年11月6日	2014年11月7日 ～2014年12月8日	2014年12月9日 ～2015年1月6日	2015年1月7日 ～2015年2月6日
当期分配金（税込み）（円）	120	120	120	120	120	120
対基準価額比率（％）	1.45	1.56	1.51	1.50	1.61	1.70
当 期 の 収 益（円）	40	120	39	120	31	33
当 期 の 収 益 以 外（円）	79	—	80	—	88	86
翌 期 繰 越 分 配 対 象 額（円）	2,832	2,875	2,795	2,866	2,781	2,695

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

【決定根拠、留保益の今後の運用方針】

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(a) 経費控除後の配当等収益	40.58円	162.87円	39.74円	190.84円	31.09円	33.25円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,912.10	2,832.69	2,832.69	2,795.31	2,808.32	2,781.93
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	42.87	0.00	62.50	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,952.69	2,995.56	2,915.31	2,986.15	2,901.93	2,815.18
(f) 分配金	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,832.69	2,875.56	2,795.31	2,866.15	2,781.93	2,695.18

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引続き、ダイワ新興国債券ファンド（AUDクラス）の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○ダイワ新興国債券ファンド（AUDクラス）

米ドル建ての新興国債券に投資します。国別配分、年限構成の決定については、各国の経済情勢および信用力等を考慮します。また、投資対象銘柄の決定については、各銘柄の流動性、利回り水準等を考慮し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行ないます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期		項 目 の 概 要
	(2014. 8. 7～2015. 2. 6)		
	金 額	比 率	
信託報酬	41円	0. 533%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は7, 701円です。
（投信会社）	(13)	(0. 163)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(27)	(0. 354)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	41	0. 536	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2014年8月7日から2015年2月6日まで）

決 算 期	第 42 期 ～ 第 47 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外 国（邦貨建）	105. 776	9, 064	132. 309	12, 000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2014年8月7日から2015年2月6日まで）

第 42 期 ～				第 47 期			
買 付				売 付			
銘	口 数	金 額	平均単価	銘	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA FUND SERIES-DAIWA EMERGING MARKET BOND FUND-AUD CLASS（ケイマン諸島）	59. 042	5, 000	84	DAIWA FUND SERIES-DAIWA EMERGING MARKET BOND FUND-AUD CLASS（ケイマン諸島）	132. 309	12, 000	90

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第42期～第47期）中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2014年8月7日から2015年2月6日まで)

決 算 期		第 42 期 ～ 第 47 期				
区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公 社 債	3,529	429	12.2	—	—	—
コール・ローン	57,466	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第42期～第47期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2014年9月8日)、(2014年10月6日)、(2014年11月6日)、(2014年12月8日)、(2015年1月6日)、(2015年2月6日)現在

項 目	第 42 期 末	第 43 期 末	第 44 期 末	第 45 期 末	第 46 期 末	第 47 期 末
(A) 資 産	62,020,319円	57,906,912円	59,511,369円	60,137,693円	63,392,067円	59,946,458円
コール・ローン等	2,473,687	2,509,203	2,560,901	1,609,243	3,031,805	1,961,133
投資信託受益証券(評価額)	59,545,630	55,396,707	56,949,466	58,527,448	60,359,260	57,984,323
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	1,002	1,002	1,002	1,002	1,002	1,002
(B) 負 債	964,993	949,174	952,916	957,152	1,072,748	1,077,696
未払収益分配金	900,194	900,194	900,194	900,194	1,020,194	1,020,194
未払信託報酬	64,324	48,147	51,515	55,339	50,559	55,104
その他未払費用	475	833	1,207	1,619	1,995	2,398
(C) 純資産総額(A－B)	61,055,326	56,957,738	58,558,453	59,180,541	62,319,319	58,868,762
元 本	52,511,367	52,511,367	52,511,367	52,511,367	59,511,367	59,511,367
次期繰越損益金	8,543,959	4,446,371	6,047,086	6,669,174	2,807,952	△ 642,605
(D) 受 益 権 総 口 数	75,016,241口	75,016,241口	75,016,241口	75,016,241口	85,016,241口	85,016,241口
1万口当り基準価額(C/D)	8,139円	7,593円	7,806円	7,889円	7,330円	6,924円

*第41期末における元本額は59,753,021円、当作成期間（第42期～第47期）中における追加設定元本額は7,000,000円、同解約元本額は7,241,654円です。
*第47期末の計算口数当りの純資産額は6,924円です。
*第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は642,605円です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 47 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) DAIWA FUND SERIES-DAIWA EMERGING MARKET BOND FUND-AUD CLASS	千口 723,519	千円 57,984	% 98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第41期末	第 47 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 0	千口 0	千円 1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年2月6日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 57,984	% 96.7
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	1,961	3.3
投 資 信 託 財 産 総 額	59,946	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■損益の状況

第42期 自2014年 8 月 7 日 至2014年 9 月 8 日 第45期 自2014年11月 7 日 至2014年12月 8 日
第43期 自2014年 9 月 9 日 至2014年10月 6 日 第46期 自2014年12月 9 日 至2015年 1 月 6 日
第44期 自2014年10月 7 日 至2014年11月 6 日 第47期 自2015年 1 月 7 日 至2015年 2 月 6 日

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(A) 配 当 等 収 益	313,686円	1,270,308円	304,366円	1,484,042円	315,316円	338,220円
受 取 配 当 金	313,653	1,270,274	304,327	1,483,991	315,221	338,139
受 取 利 息	33	34	39	51	95	81
(B) 有価証券売買損益	1,894,725	△ 4,419,197	2,248,432	93,991	△ 3,483,409	△ 2,713,076
売 買 益	2,054,716	2	2,248,433	93,992	—	—
売 買 損	△ 159,991	△ 4,419,199	△ 1	△ 1	△ 3,483,409	△ 2,713,076
(C) 信 託 報 酬 等	△ 64,799	△ 48,505	△ 51,889	△ 55,751	△ 50,935	△ 55,507
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	2,143,612	△ 3,197,394	2,500,909	1,522,282	△ 3,219,028	△ 2,430,363
(E) 前期繰越損益金	△ 4,228,295	△ 2,389,168	△ 6,486,756	△ 4,605,637	△ 3,983,549	△ 7,998,378
(F) 追加信託差損益金	11,528,836	10,933,127	10,933,127	10,652,723	11,030,723	10,806,330
(配当等相当額)	(21,845,519)	(21,249,810)	(21,249,810)	(20,969,406)	(23,875,355)	(23,650,962)
(売買損益相当額)	(△10,316,683)	(△10,316,683)	(△10,316,683)	(△10,316,683)	(△12,844,632)	(△12,844,632)
(G) 合計(D+E+F)	9,444,153	5,346,565	6,947,280	7,569,368	3,828,146	377,589
(H) 収 益 分 配 金	△ 900,194	△ 900,194	△ 900,194	△ 900,194	△ 1,020,194	△ 1,020,194
次期繰越損益金(G+H)	8,543,959	4,446,371	6,047,086	6,669,174	2,807,952	△ 642,605
追加信託差損益金	10,933,127	10,933,127	10,652,723	10,652,723	10,806,330	10,068,849
(配当等相当額)	(21,249,810)	(21,249,810)	(20,969,406)	(20,969,406)	(23,650,962)	(22,913,481)
(売買損益相当額)	(△10,316,683)	(△10,316,683)	(△10,316,683)	(△10,316,683)	(△12,844,632)	(△12,844,632)
分配準備積立金	—	321,609	—	531,420	—	—
繰 越 損 益 金	△ 2,389,168	△ 6,808,365	△ 4,605,637	△ 4,514,969	△ 7,998,378	△10,711,454

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(a) 経費控除後の配当等収益	304,485円	1,221,803円	298,181円	1,431,614円	264,381円	282,713円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	21,845,519	21,249,810	21,249,810	20,969,406	23,875,355	23,650,962
(d) 分配準備積立金	0	0	321,609	0	531,420	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	22,150,004	22,471,613	21,869,600	22,401,020	24,671,156	23,933,675
(f) 分配金	900,194	900,194	900,194	900,194	1,020,194	1,020,194
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	21,249,810	21,571,419	20,969,406	21,500,826	23,650,962	22,913,481
(h) 受益権総口数	75,016,241口	75,016,241口	75,016,241口	75,016,241口	85,016,241口	85,016,241口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
1 万 口 当 り 分 配 金	120円	120円	120円	120円	120円	120円
（ 単 価 ）	(8,139円)	(7,593円)	(7,806円)	(7,889円)	(7,330円)	(6,924円)

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

●運用報告書（全体版）の電子交付について

2014年12月1日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の2種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に定めました。

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。

【本資料は、受益者のみなさまにファンドの運用状況をお知らせするためのものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。】

★新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド（毎月決算型）

■最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J Pモルガン・エマーゾング・ マーケット・ボンド・インデックス・プラス (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為 替 レ ー ト		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
18期末(2012年9月6日)	10,038	40	1.1	12,507	0.8	38.47	△0.6	0.0	99.3	10
19期末(2012年10月9日)	10,342	40	3.4	12,748	1.9	38.53	0.2	0.0	99.3	10
20期末(2012年11月6日)	10,455	40	1.5	12,756	0.1	39.41	2.3	0.0	99.2	10
21期末(2012年12月6日)	10,572	40	1.5	12,960	1.6	39.46	0.1	0.0	99.2	10
22期末(2013年1月7日)	11,781	40	11.8	13,049	0.7	43.32	9.8	0.0	99.2	11
23期末(2013年2月6日)	12,517	40	6.6	12,723	△2.5	47.20	9.0	0.0	99.3	12
24期末(2013年3月6日)	12,616	40	1.1	12,771	0.4	47.42	0.5	0.0	99.3	12
25期末(2013年4月8日)	12,944	40	2.9	12,899	1.0	49.53	4.4	0.0	99.1	12
26期末(2013年5月7日)	※10,423	130	※1.9	13,081	1.4	49.34	△0.4	0.0	98.1	13
27期末(2013年6月6日)	9,331	130	△9.2	12,362	△5.5	46.68	△5.4	0.0	98.9	76
28期末(2013年7月8日)	8,318	130	△9.5	11,785	△4.7	45.00	△3.6	0.0	97.7	78
29期末(2013年8月6日)	7,867	130	△3.9	11,888	0.9	42.51	△5.5	0.0	99.0	96
30期末(2013年9月6日)	7,533	130	△2.6	11,424	△3.9	43.01	1.2	0.0	98.8	94
31期末(2013年10月7日)	7,828	130	5.6	11,911	4.3	43.98	2.3	0.0	98.7	98
32期末(2013年11月6日)	7,689	130	△0.1	12,019	0.9	43.05	△2.1	0.0	99.5	97
33期末(2013年12月6日)	7,404	130	△2.0	11,787	△1.9	43.26	0.5	0.0	99.1	98
34期末(2014年1月6日)	7,597	130	4.4	11,946	1.3	44.04	1.8	0.0	99.0	100
35期末(2014年2月6日)	7,113	130	△4.7	11,855	△0.8	42.29	△4.0	0.0	97.2	119
36期末(2014年3月6日)	7,438	130	6.4	12,188	2.8	44.15	4.4	0.0	97.4	140
37期末(2014年4月7日)	7,839	130	7.1	12,453	2.2	46.17	4.6	0.0	97.1	181
38期末(2014年5月7日)	7,817	130	1.4	12,674	1.8	45.56	△1.3	0.0	96.9	237
39期末(2014年6月6日)	7,747	130	0.8	12,948	2.2	45.27	△0.6	0.0	97.0	200
40期末(2014年7月7日)	7,843	130	2.9	13,054	0.8	46.18	2.0	0.0	98.1	203
41期末(2014年8月6日)	7,629	130	△1.1	12,942	△0.9	44.97	△2.6	0.0	98.7	200
42期末(2014年9月8日)	7,864	130	4.8	13,111	1.3	46.84	4.2	0.0	98.9	195
43期末(2014年10月6日)	7,160	130	△7.3	12,803	△2.4	44.61	△4.8	0.0	97.3	200
44期末(2014年11月6日)	7,427	130	5.5	12,964	1.3	45.73	2.5	0.0	98.1	208
45期末(2014年12月8日)	7,499	130	2.7	12,863	△0.8	46.97	2.7	0.0	98.7	210
46期末(2015年1月6日)	6,915	130	△6.1	12,553	△2.4	44.11	△6.1	0.0	97.8	200
47期末(2015年2月6日)	6,750	130	△0.5	12,844	2.3	42.79	△3.0	0.0	99.5	196

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J Pモルガン・エマーゾング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（米ドルベース）は、J Pモルガン・エマーゾング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（米ドルベース）の原指数をもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン・エマーゾング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（米ドルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

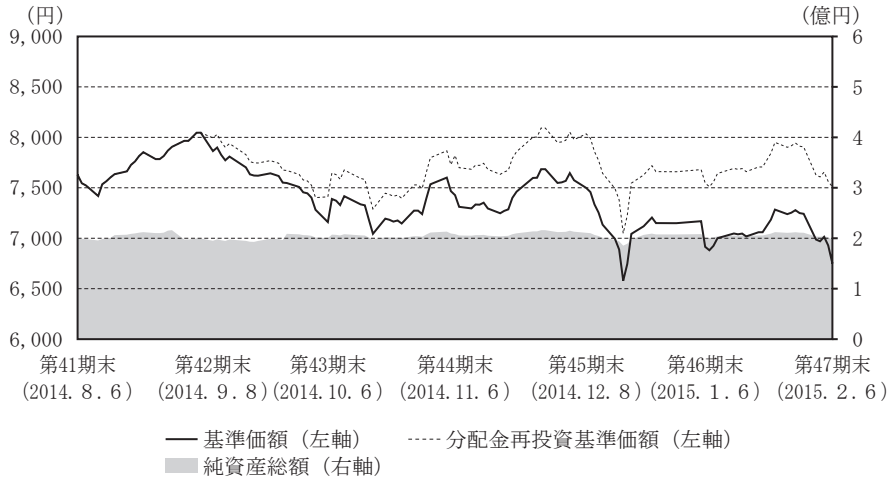
(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

※2013年4月26日に受益権8口に対して10口の割合で分割を行ないました。第26期末の基準価額は受益権の分割の影響を受けています。また、第26期末の期中騰落率は、受益権の分割が基準価額に与えた影響を除いた数値です。

■ 当作成期間（第42期～第47期）中の基準価額と市況の推移



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（米ドルベース）		ブラジル・リアル為替レート		公 社 債 組 入 比 率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第42期	(期首) 2014年 8 月 6 日	7,629	% —	12,942	% —	44.97	% —	0.0	98.7
	8 月末	7,906	3.6	13,152	1.6	46.30	3.0	0.0	88.3
	(期末) 2014年 9 月 8 日	7,994	4.8	13,111	1.3	46.84	4.2	0.0	98.9
第43期	(期首) 2014年 9 月 8 日	7,864	—	13,111	—	46.84	—	0.0	98.9
	9 月末	7,455	△5.2	12,838	△2.1	44.73	△4.5	0.0	96.7
	(期末) 2014年10月 6 日	7,290	△7.3	12,803	△2.4	44.61	△4.8	0.0	97.3
第44期	(期首) 2014年10月 6 日	7,160	—	12,803	—	44.61	—	0.0	97.3
	10 月末	7,535	5.2	13,054	2.0	45.48	2.0	0.0	96.4
	(期末) 2014年11月 6 日	7,557	5.5	12,964	1.3	45.73	2.5	0.0	98.1
第45期	(期首) 2014年11月 6 日	7,427	—	12,964	—	45.73	—	0.0	98.1
	11 月末	7,684	3.5	12,998	0.3	46.69	2.1	0.0	98.0
	(期末) 2014年12月 8 日	7,629	2.7	12,863	△0.8	46.97	2.7	0.0	98.7
第46期	(期首) 2014年12月 8 日	7,499	—	12,863	—	46.97	—	0.0	98.7
	12 月末	7,149	△4.7	12,694	△1.3	44.52	△5.2	0.0	96.1
	(期末) 2015年 1 月 6 日	7,045	△6.1	12,553	△2.4	44.11	△6.1	0.0	97.8
第47期	(期首) 2015年 1 月 6 日	6,915	—	12,553	—	44.11	—	0.0	97.8
	1 月 末	7,242	4.7	12,747	1.5	45.40	2.9	0.0	97.8
	(期末) 2015年 2 月 6 日	6,880	△0.5	12,844	2.3	42.79	△3.0	0.0	99.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

第42期首：7,629円 第47期末：6,750円（既払分配金780円） 騰落率：△1.6%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

米ドル建て新興国債券からの利息収入と米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替ヘッジプレミアム（金利差相当分の収益）が基準価額の値上がりに寄与した一方で、米ドル建て新興国債券価格の下落とブラジル・レアルの対円での下落が基準価額の値下がり要因となりました。

◆投資環境について

○米ドル建て新興国債券市況

米ドル建て新興国債券はマイナスの収益となりました。世界的な需要減とシェール・オイル生産増を背景に原油価格の大幅な下落傾向が続き、資源価格全体でも下落傾向となる中で、資源輸出依存度の高い新興国債券市況は軟調な推移となりました。資源純輸入国や欧州の金融緩和の恩恵を受けやすい中東欧諸国では比較的堅調な推移となったものの、ウクライナ情勢悪化による地政学リスクの高まりやベネズエラの債務不履行懸念等がセンチメントの悪化につながったことで、全体として見ると米ドル建て新興国債券価格は下落（利回りは上昇）しました。一方で、米国は量的金融緩和政策を終了したものの、米ドル高や資源価格安による期待インフレ率の低下、世界的な金融緩和傾向による金利低下圧力、リスクセンチメントの悪化を受けて米国債価格が上昇（利回りは低下）した結果、新興国債券と米国債との利回り格差は拡大しました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。日本の追加金融緩和政策を受けて円安圧力が続いた一方で、ブラジルでは大統領選挙やその後の財政改革をめぐる強弱両材料が出たことで、レアル円は一進一退の推移を続けましたが、資源価格が大幅に下落したことやブラジル経済の減速および財政悪化が続いたことで、レアルの下落圧力が勝る結果となりました。

○短期金利市況

ブラジル中央銀行は、インフレに対応するため2014年10月に0.25%ポイント、12月および2015年1月にそれぞれ0.50%ポイントの利上げを行ない、政策金利は12.25%となりました。この間F R B（米国連邦準備制度理事会）は政策金利を据え置いたことから、ブラジルの短期金利が米ドルの短期金利を上回る状況が継続しました。

◆前作成期間末における「今後の運用方針」

「ダイワ・ファンド・シリーズダイワ新興国債券ファンド（毎月分配型）日本円建 ブラジル・レアル・ヘッジクラス」（以下「ダイワ新興国債券ファンド（BRLクラス）」といいます。）への投資割合を高位に維持することによって、米ドル建て新興国債券からの収益を享受するとともに、ブラジル・レアルの為替値上がり益の獲得をめざします。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、ダイワ新興国債券ファンド（BRLクラス）の受益証券とダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期間を通じてダイワ新興国債券ファンド（BRLクラス）の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

○ダイワ新興国債券ファンド（BRLクラス）

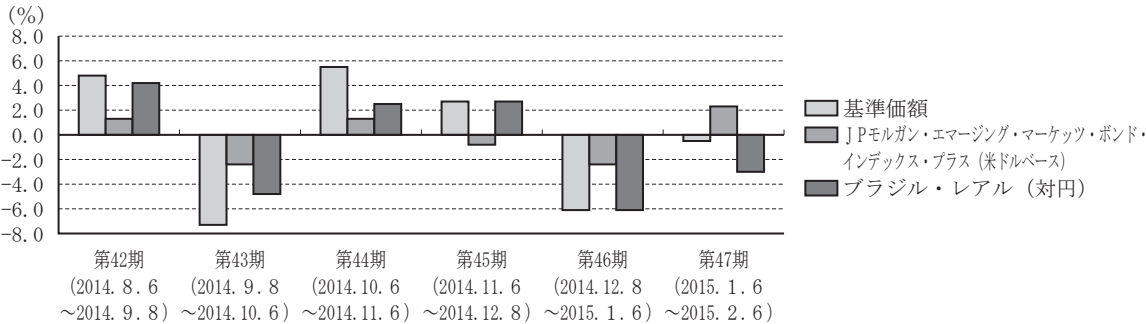
米ドル建ての新興国債券に投資しました。国別配分、年限構成の決定については、各国の経済情勢および信用力等を考慮し、投資対象銘柄の決定については、各銘柄の流動性、利回り水準等を考慮しました。また、債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで6（年）～8（年）程度の範囲でコントロールし、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないました。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



◆分配金について

【収益分配金】

第42期から第47期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ130円といたしました。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2014年8月7日 ～2014年9月8日	2014年9月9日 ～2014年10月6日	2014年10月7日 ～2014年11月6日	2014年11月7日 ～2014年12月8日	2014年12月9日 ～2015年1月6日	2015年1月7日 ～2015年2月6日
当期分配金（税込み）（円）	130	130	130	130	130	130
対基準価額比率（％）	1.63	1.78	1.72	1.70	1.85	1.89
当 期 の 収 益（円）	85	130	84	80	78	78
当 期 の 収 益 以 外（円）	44	—	45	49	51	51
翌期繰越分配対象額（円）	2,723	2,797	2,751	2,702	2,653	2,601

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

【決定根拠、留保益の今後の運用方針】

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(a) 経費控除後の配当等収益	85.26円	181.70円	84.48円	80.97円	78.01円	78.11円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,768.63	2,745.43	2,745.57	2,745.59	2,705.51	2,653.53
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	51.57	6.03	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,853.89	2,927.14	2,881.62	2,832.60	2,783.53	2,731.65
(f) 分配金	130.00	130.00	130.00	130.00	130.00	130.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,723.89	2,797.14	2,751.62	2,702.60	2,653.53	2,601.65

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引続き、ダイワ新興国債券ファンド（ＢＲＬクラス）の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○ダイワ新興国債券ファンド（ＢＲＬクラス）

米ドル建ての新興国債券に投資します。国別配分、年限構成の決定については、各国の経済情勢および信用力等を考慮します。また、投資対象銘柄の決定については、各銘柄の流動性、利回り水準等を考慮し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行ないます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期		項 目 の 概 要
	(2014. 8. 7～2015. 2. 6)		
	金 額	比 率	
信託報酬	39円	0. 533%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は7, 378円です。
（投信会社）	(12)	(0. 163)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(26)	(0. 354)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	40	0. 536	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2014年8月7日から2015年2月6日まで)

決 算 期	第 42 期 ～ 第 47 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外 国（邦貨建）	636. 639	43, 287	380. 822	27, 000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2014年8月7日から2015年2月6日まで)

第 42 期 ～				第 47 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA FUND SERIES-DAIWA EMERGING MARKET BOND FUND-BRL CLASS（ケイマン諸島）	381. 039	26, 000	68	DAIWA FUND SERIES-DAIWA EMERGING MARKET BOND FUND-BRL CLASS（ケイマン諸島）	380. 822	27, 000	70

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第42期～第47期）中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2014年8月7日から2015年2月6日まで)

決 算 期	第 42 期 ～ 第 47 期					
区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公 社 債	3,529	429	12.2	—	—	—
コール・ローン	57,466	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第42期～第47期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2014年9月8日)、(2014年10月6日)、(2014年11月6日)、(2014年12月8日)、(2015年1月6日)、(2015年2月6日)現在

項 目	第 42 期 末	第 43 期 末	第 44 期 末	第 45 期 末	第 46 期 末	第 47 期 末
(A) 資 産	198,437,517円	204,056,444円	212,114,403円	214,652,163円	204,742,189円	200,511,481円
コール・ローン等	5,494,055	9,108,061	7,844,848	6,507,577	8,271,328	4,886,108
投資信託受益証券(評価額)	192,942,460	194,947,381	204,268,553	208,143,584	196,469,859	195,624,371
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	1,002	1,002	1,002	1,002	1,002	1,002
(B) 負 債	3,421,545	3,800,581	3,833,807	3,854,234	3,952,770	3,979,025
未払収益分配金	3,223,861	3,635,896	3,645,600	3,654,217	3,774,637	3,785,173
未払信託報酬	196,198	161,973	184,103	194,441	171,258	185,570
その他未払費用	1,486	2,712	4,104	5,576	6,875	8,282
(C) 純資産総額(A－B)	195,015,972	200,255,863	208,280,596	210,797,929	200,789,419	196,532,456
元 本	198,391,493	223,747,502	224,344,670	224,874,914	232,285,370	232,933,725
次期繰越損益金	△ 3,375,521	△ 23,491,639	△ 16,064,074	△ 14,076,985	△ 31,495,951	△ 36,401,269
(D) 受 益 権 総 口 数	247,989,370口	279,684,382口	280,430,842口	281,093,647口	290,356,717口	291,167,161口
1万口当り基準価額(C/D)	7.864円	7.160円	7.427円	7.499円	6.915円	6.750円

*第41期末における元本額は210,429,465円、当作成期間（第42期～第47期）中における追加設定元本額は43,846,349円、同解約元本額は21,342,089円です。

*第47期末の計算口数当りの純資産額は6,750円です。

*第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は36,401,269円です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 47 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) DAIWA FUND SERIES-DAIWA EMERGING MARKET BOND FUND-BRL CLASS	千口 3,076.386	千円 195,624	% 99.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第41期末	第 47 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年2月6日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	195,624	97.6
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	4,886	2.4
投 資 信 託 財 産 総 額	200,511	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■ 損益の状況

第42期
第43期
第44期

自2014年 8 月 7 日
自2014年 9 月 9 日
自2014年10月 7 日

至2014年 9 月 8 日
至2014年10月 6 日
至2014年11月 6 日

第45期
第46期
第47期

自2014年11月 7 日
自2014年12月 9 日
自2015年 1 月 7 日

至2014年12月 8 日
至2015年 1 月 6 日
至2015年 2 月 6 日

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(A) 配 当 等 収 益	2,160,733円	5,245,289円	2,408,600円	2,354,624円	2,437,890円	2,461,481円
受 取 配 当 金	2,160,563	5,245,089	2,408,409	2,354,457	2,437,695	2,461,228
受 取 利 息	170	200	191	167	195	253
(B) 有価証券売買損益	7,052,565	△20,240,169	8,912,763	3,520,574	△14,989,553	△ 3,306,716
売 買 益	7,495,546	—	8,912,764	3,520,575	133,115	—
売 買 損	△ 442,981	△20,240,169	△ 1	△ 1	△15,122,668	△ 3,306,716
(C) 信 託 報 酬 等	△ 197,684	△ 163,199	△ 185,495	△ 195,913	△ 172,557	△ 186,977
(D) 当期損益金(A+B+C)	9,015,614	△15,158,079	11,135,868	5,679,285	△12,724,220	△ 1,032,212
(E) 前期繰越損益金	△ 8,393,794	△ 1,492,158	△20,286,133	△12,795,865	△ 9,517,464	△24,507,017
(F) 追加信託差損益金	△ 773,480	△ 3,205,506	△ 3,268,209	△ 3,306,188	△ 5,479,630	△ 7,076,867
(配当等相当額)	(68,659,108)	(76,785,623)	(76,994,417)	(77,176,792)	(78,556,495)	(77,262,237)
(売買損益相当額)	(△69,432,588)	(△79,991,129)	(△80,262,626)	(△80,482,980)	(△84,036,125)	(△84,339,104)
(G) 合計(D+E+F)	△ 151,660	△19,855,743	△12,418,474	△10,422,768	△27,721,314	△32,616,096
(H) 収 益 分 配 金	△ 3,223,861	△ 3,635,896	△ 3,645,600	△ 3,654,217	△ 3,774,637	△ 3,785,173
次期繰越損益金(G+H)	△ 3,375,521	△23,491,639	△16,064,074	△14,076,985	△31,495,951	△36,401,269
追加信託差損益金	△ 1,882,965	△ 3,205,506	△ 3,268,209	△ 4,514,564	△ 6,988,934	△ 8,587,536
(配当等相当額)	(67,549,623)	(76,785,623)	(76,994,417)	(75,968,416)	(77,047,191)	(75,751,568)
(売買損益相当額)	(△69,432,588)	(△79,991,129)	(△80,262,626)	(△80,482,980)	(△84,036,125)	(△84,339,104)
分配準備積立金	—	1,446,194	169,739	—	—	—
繰 越 損 益 金	△ 1,492,556	△21,732,327	△12,965,604	△ 9,562,421	△24,507,017	△27,813,733

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■ 収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,114,376円	5,082,090円	2,369,145円	2,276,102円	2,265,333円	2,274,504円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	68,659,108	76,785,623	76,994,417	77,176,792	78,556,495	77,262,237
(d) 分配準備積立金	0	0	1,446,194	169,739	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	70,773,484	81,867,713	80,809,756	79,622,633	80,821,828	79,536,741
(f) 分配金	3,223,861	3,635,896	3,645,600	3,654,217	3,774,637	3,785,173
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	67,549,623	78,231,817	77,164,156	75,968,416	77,047,191	75,751,568
(h) 受益権総口数	247,989,370口	279,684,382口	280,430,842口	281,093,647口	290,356,717口	291,167,161口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 42 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期
1 万 口 当 り 分 配 金	130円	130円	130円	130円	130円	130円
（単 価）	(7,864円)	(7,160円)	(7,427円)	(7,499円)	(6,915円)	(6,750円)

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

●運用報告書（全体版）の電子交付について

2014年12月1日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の2種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に定めました。

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当しません。）には適用されなくなりました。

【本資料は、受益者のみなさまにファンドの運用状況をお知らせするためのものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。】

ダイワ・ファンド・シリーズーダイワ新興国債券ファンド（毎月分配型）日本円建
豪ドル・ヘッジクラス／ブラジル・リアル・ヘッジクラス

「新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）」および「新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド（毎月決算型）」はダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドが運用するケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・ファンド・シリーズーダイワ新興国債券ファンド（毎月分配型）日本円建 豪ドル・ヘッジクラス」および「同ブラジル・リアル・ヘッジクラス」にそれぞれ投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

（注）2015年2月6日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

貸借対照表

2013年11月30日現在

	(米ドル)
資産	
現預金等	4, 823, 402
損益を通じて公正価値で測定する金融資産	107, 468, 640
未収利息	1, 918, 841
ブローカーに対する債権	3, 833, 750
資本受益証券未収金	15, 895
前払金および受取債権	106, 197
資産合計	118, 166, 725
負債	
損益を通じて公正価値で測定する金融負債	(1, 986, 074)
資本受益証券未払金	(39, 046)
未払費用	(264, 174)
負債合計（買戻可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）	(2, 289, 294)
買戻可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産	115, 877, 431
日本円建（日本円・ヘッジクラス）受益証券	7, 519, 285
日本円建（ブラジル・リアル・ヘッジクラス）受益証券	1, 509, 654
日本円建（豪ドル・ヘッジクラス）受益証券	748, 431
米ドル建（豪ドル・ヘッジクラス）受益証券	204, 406
米ドル建（ブラジル・リアル・ヘッジクラス）受益証券	1, 473, 277
日本円建（日本円・ヘッジクラス）買戻可能参加型受益証券の1受益証券当たり純資産	86円
日本円建（ブラジル・リアル・ヘッジクラス）買戻可能参加型受益証券の1受益証券当たり純資産	68円
日本円建（豪ドル・ヘッジクラス）買戻可能参加型受益証券の1受益証券当たり純資産	86円
米ドル建（豪ドル・ヘッジクラス）買戻可能参加型受益証券の1受益証券当たり純資産	74.70米ドル
米ドル建（ブラジル・リアル・ヘッジクラス）買戻可能参加型受益証券の1受益証券当たり純資産	62.89米ドル

損益計算書

2013年11月30日で終了する会計年度

(米ドル)

収入	
債券の利子収入	9, 792, 010
銀行利子収入	—
損益を通じて公正価値で測定する金融資産および負債の純利益（純損失）	(35, 334, 041)
収入（損失）合計	<u>(25, 542, 031)</u>
営業費用	
受託および管理事務代行報酬	(161, 919)
管理報酬	(32, 382)
投資運用報酬	(647, 683)
副管理事務代行報酬	(52, 248)
保管報酬	(53, 675)
管理サービス提供会社報酬	(299, 987)
販売会社報酬	(749, 959)
代行協会員報酬	(149, 991)
監査報酬	(23, 933)
設立費用および創業費用	(15, 899)
法律顧問料	(99, 493)
その他の費用	(36, 708)
営業費用合計	<u>(2, 323, 877)</u>
純利益（純損失）	(27, 865, 908)
金融費用	
銀行利子費用	—
既払分配金	(13, 739, 299)
	<u>(13, 739, 299)</u>
買戻可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産の事業による減少額	<u>(41, 605, 207)</u>

「新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）」および「新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド（毎月決算型）」はダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドが運用するケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・ファンド・シリーズダイワ新興国債券ファンド（毎月分配型）日本円建 豪ドル・ヘッジクラス」および「同ブラジル・リアル・ヘッジクラス」にそれぞれ投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスに共通です。

（注）2015年2月6日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

ポートフォリオ明細書

2013年11月30日現在

額面	銘柄	市場価格 (米ドル)	純資産に 占める割合 (%)
国債			
2,000,000	Argentina Bonar Bonds 7% 17/04/2017	1,820,778	1.57
5,000,000	Banco Nacional de Desenvolvimento Economico e Social 5.5% 12/07/2020	5,111,249	4.41
1,000,000	Brazilian Government International Bond 8.25% 20/01/2034	1,266,500	1.09
1,000,000	Brazilian Government International Bond 10.125% 15/05/2027	1,504,375	1.30
1,000,000	Brazilian Government International Bond 12.25% 06/03/2030	1,751,250	1.51
1,000,000	Brazilian Government International Bond 12.75% 15/01/2020	1,542,500	1.33
500,000	Bulgaria Government International Bond 8.25% 15/01/2015	539,948	0.47
5,000,000	Colombia Government International Bond 7.375% 18/03/2019	6,034,374	5.21
2,000,000	Colombia Government International Bond 7.375% 18/09/2037	2,445,000	2.11
2,000,000	Croatia Government International Bond 6.625% 14/07/2020	2,131,460	1.84
1,000,000	Croatia Government International Bond 6.75% 05/11/2019	1,082,600	0.93
4,000,000	Hungary Government International Bond 6.25% 29/01/2020	4,315,708	3.72
1,000,000	Hungary Government International Bond 7.625% 29/03/2041	1,073,650	0.93
2,000,000	Indonesia Government International Bond 7.75% 17/01/2038	2,270,000	1.96
2,000,000	Indonesia Government International Bond 8.5% 12/10/2035	2,430,000	2.10
1,000,000	Mexico Government International Bond 5.125% 15/01/2020	1,112,069	0.96
1,000,000	Mexico Government International Bond 5.625% 15/01/2017	1,125,229	0.97
500,000	Mexico Government International Bond 5.75% 12/10/2110	449,388	0.39
1,000,000	Mexico Government International Bond 5.95% 19/03/2019	1,160,000	1.00
1,500,000	Mexico Government International Bond 6.05% 11/01/2040	1,605,000	1.39
3,000,000	Mexico Government International Bond 6.75% 27/09/2034	3,486,741	3.01
2,000,000	Panama Government International Bond 8.875% 30/09/2027	2,662,000	2.30
1,500,000	Peruvian Government International Bond 5.625% 18/11/2050	1,483,163	1.28
1,000,000	Peruvian Government International Bond 8.75% 21/11/2033	1,402,746	1.21
700,000	Philippine Government International Bond 6.375% 15/01/2032	826,441	0.71
1,000,000	Philippine Government International Bond 6.375% 23/10/2034	1,192,500	1.03
1,000,000	Philippine Government International Bond 7.75% 14/01/2031	1,330,000	1.15
1,000,000	Philippine Government International Bond 8.375% 17/06/2019	1,282,500	1.11
1,500,000	Philippine Government International Bond 9.5% 02/02/2030	2,269,695	1.96
1,000,000	Philippine Government International Bond 9.875% 15/01/2019	1,331,250	1.15
1,000,000	Philippine Government International Bond 10.625% 16/03/2025	1,555,000	1.34

新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）／新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド（毎月決算型）

額面	銘柄	市場価格 (米ドル)	純資産に 占める割合 (%)
1,000,000	Romanian Government International Bond 6.75% 07/02/2022	1,137,370	0.98
3,000,000	Russian Foreign Bond - Eurobond 5% 29/04/2020	3,235,620	2.79
7,507,500	Russian Foreign Bond - Eurobond 7.5% 31/03/2030	8,828,669	7.61
2,000,000	Russian Foreign Bond - Eurobond 11% 24/07/2018	2,710,010	2.34
2,000,000	Russian Foreign Bond - Eurobond 12.75% 24/06/2028	3,421,880	2.95
500,000	South Africa Government International Bond 6.875% 27/05/2019	574,778	0.50
1,000,000	Turkey Government International Bond 5.625% 30/03/2021	1,040,100	0.90
1,000,000	Turkey Government International Bond 6.25% 26/09/2022	1,071,005	0.92
1,000,000	Turkey Government International Bond 6.75% 03/04/2018	1,113,755	0.96
1,000,000	Turkey Government International Bond 6.75% 30/05/2040	1,033,010	0.89
1,000,000	Turkey Government International Bond 6.875% 17/03/2036	1,047,010	0.90
1,000,000	Turkey Government International Bond 7% 26/09/2016	1,106,390	0.95
1,000,000	Turkey Government International Bond 7% 05/06/2020	1,125,248	0.97
3,000,000	Turkey Government International Bond 7.375% 05/02/2025	3,374,625	2.91
500,000	Turkey Government International Bond 11.875% 15/01/2030	785,000	0.68
1,000,000	Ukraine Government International Bond 6.58% 21/11/2016	895,000	0.77
700,000	Ukraine Government International Bond 6.875% 23/09/2015	648,043	0.56
2,500,000	Venezuela Government International Bond 5.75% 26/02/2016	2,110,000	1.82
2,000,000	Venezuela Government International Bond 7.75% 13/10/2019	1,487,000	1.28
2,000,000	Venezuela Government International Bond 8.25% 13/10/2024	1,363,000	1.18
1,000,000	Venezuela Government International Bond 9.25% 07/05/2028	727,500	0.63
500,000	Venezuela Government International Bond 9.375% 13/01/2034	360,000	0.31
5,000,000	Venezuela Government International Bond 12.75% 23/08/2022	4,610,000	3.98
	社債		
4,000,000	Petroleos Mexicanos 6.5% 02/06/2041	4,064,676	3.51
	投資ポートフォリオの合計	107,462,803	92.73
	その他の純資産（外国為替先渡契約における未実現利益（損失）を含む）	8,414,628	7.26
	買戻可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産	115,877,431	100.00

本シリーズ・トラストが保有する外国為替先渡契約（2013年11月30日現在）

外国為替先渡契約－未実現利益					
買付通貨	買付額	売付通貨	売付額	満期日	未実現利益 (米ドル)
米ドル	411,351	ブラジル・リアル	954,153	2013年12月30日	5,509
米ドル	56,028	日本円	5,700,000	2013年12月30日	328
外国為替先渡契約の未実現利益総額					5,837
外国為替先渡契約－未実現損失					
買付通貨	買付額	売付通貨	売付額	満期日	未実現損失 (米ドル)
豪ドル	18,270,402	米ドル	16,712,667	2013年12月30日	(50,445)
ブラジル・リアル	229,609,584	米ドル	99,531,659	2013年12月30日	(1,868,764)
日本円	654,670,243	米ドル	6,464,283	2013年12月30日	(66,865)
外国為替先渡契約の未実現損失総額					(1,986,074)

＜補足情報＞

当ファンド（新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）／新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド（毎月決算型））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2014年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第47期の決算日（2015年2月6日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を24ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

（2014年8月7日から2015年2月6日まで）

買			付			売			付		
銘		柄	金		額	銘		柄	金		額
					千円						千円
496	国庫短期証券	2015/3/9			1,099,998						
438	国庫短期証券	2015/3/20			999,998						
502	国庫短期証券	2015/3/30			199,999						
464	国庫短期証券	2015/1/14			149,999						
497	国庫短期証券	2015/3/16			149,998						
508	国庫短期証券	2015/4/27			100,000						
419	国庫短期証券	2014/12/22			99,999						
478	国庫短期証券	2015/3/10			99,999						
477	国庫短期証券	2014/12/8			99,996						
475	国庫短期証券	2014/11/25			99,992						

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年2月6日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（3,911,072千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2015年2月6日現在							
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
				以下組入比率	5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国 債 証 券	千円 2,810,000	千円 2,809,996	% 71.6	% —	% —	% —	% 71.6

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2015年2月6日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	490 国庫短期証券		% —	千円 70,000	千円 69,999	2015/02/09
	493 国庫短期証券		—	90,000	89,999	2015/02/23
	496 国庫短期証券		—	1,100,000	1,099,999	2015/03/09
	478 国庫短期証券		—	100,000	99,999	2015/03/10
	497 国庫短期証券		—	150,000	149,999	2015/03/16
	438 国庫短期証券		—	1,000,000	999,998	2015/03/20
	502 国庫短期証券		—	200,000	199,999	2015/03/30
	508 国庫短期証券		—	100,000	100,000	2015/04/27
合 計	銘 柄 数	8銘柄		2,810,000	2,809,996	
	金 額					

（注）単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第5期（決算日 2014年12月9日）

（計算期間 2013年12月10日～2014年12月9日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

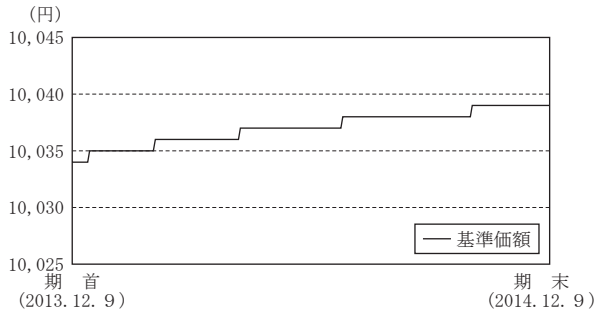
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	公 社 債 組 入 比 率
	円	%	%
(期首) 2013年12月9日	10,034	—	69.6
12月末	10,035	0.0	63.0
2014年1月末	10,035	0.0	70.9
2月末	10,036	0.0	65.8
3月末	10,036	0.0	67.1
4月末	10,037	0.0	69.1
5月末	10,037	0.0	69.1
6月末	10,037	0.0	67.6
7月末	10,038	0.0	72.5
8月末	10,038	0.0	73.1
9月末	10,038	0.0	68.8
10月末	10,039	0.0	64.6
11月末	10,039	0.0	64.6
(期末) 2014年12月9日	10,039	0.0	58.5

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,034円 期末：10,039円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。また、2014年10月末には追加金融緩和を実施し、長期国債を中心とする資産買い入れを一層拡大しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場ではおおむね低位での金利水準が続き、無担保コール翌日物金利は0.06%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは0.06%程度で始まりましたが、日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.01%程度まで低下して期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引続き、資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	— 円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

国 内 国 債 証 券	買 付 額 千円	売 付 額 千円
	2,599,774	— (2,690,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額 千円	銘 柄	金 額 千円
464 国庫短期証券 2015/1/14	149,999		
419 国庫短期証券 2014/12/22	99,999		
477 国庫短期証券 2014/12/8	99,996		
475 国庫短期証券 2014/11/25	99,992		
454 国庫短期証券 2014/8/25	99,990		
433 国庫短期証券 2014/5/26	99,988		
493 国庫短期証券 2015/2/23	89,998		
473 国庫短期証券 2014/11/17	79,995		
452 国庫短期証券 2014/8/18	79,991		
431 国庫短期証券 2014/5/19	79,991		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当			期 末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率	
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上
国 債 証 券	480,000	479,995	58.5	—	%	%

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当 期		末			
区 分	銘 柄	年利率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
国債証券	479 国庫短期証券	%	千円	千円	2014/12/15
	419 国庫短期証券	—	70,000	69,999	2014/12/22
	464 国庫短期証券	—	100,000	99,999	2015/01/14
	490 国庫短期証券	—	150,000	149,999	2015/01/14
	493 国庫短期証券	—	70,000	69,997	2015/02/09
合計	5銘柄	—	90,000	89,998	2015/02/23
金額		—	480,000	479,995	—

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2014年12月 9 日現在

当 期		末	
項 目	評 価 額	比 率	率
公 社 債	千円	%	%
	479,995	58.5	58.5
コール・ローン等、その他	340,319	41.5	41.5
投資信託財産総額	820,315	100.0	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月 9 日現在

項 目	当 期	末
(A) 資 産	820,315,287円	820,315,287円
公 社 債	340,319,449	340,319,449
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	479,995,838	479,995,838
(B) 負 債	—	—
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	820,315,287	820,315,287
次 期 繰 越 損 益 金	817,136,908	817,136,908
(D) 受 益 繰 越 損 益 金	3,178,379	3,178,379
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	817,136,908口	817,136,908口
	10,039円	10,039円

* 期首における元本額は815,881,793円、当期中における追加設定元本額は358,153,378円、同解約元本額は356,898,263円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）998円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジあり）112,594,660円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジなし）73,734,556円、ダイワ米国バンクロン・ファンド（為替ヘッジあり）2014－07 9,963円、ダイワ米国バンクロン・ファンド（為替ヘッジあり）2014－09 9,963円、ダイワ米国バンクロン・ファンド（為替ヘッジあり）2014－11 9,962円、新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）999円、アジア高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）999円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド A コース4,988,527円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド B コース2,494,264円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド C コース999,197円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 A コース698,255円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 B コース458,853円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 A コース1,994,416円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 B コース648,186円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 C コース179,498円、世界優先証券ファンド（為替ヘッジあり／限定追加型）998円、U S 短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）3,988,832円、U S 短期高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり／年1回決算型）4,984円、ダイワ／シュローダー・グローバル高利回りC B フォンド（限定追加型）為替ヘッジあり7,009,001円、ダイワ／シュローダー・グローバル高利回りC B フォンド（限定追加型）為替ヘッジなし904,221円、ダイワ／モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド 一成長の福音（つちおと）－11,000,000円、ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ277,939,483円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ155,681,197円、ダイワ米国高利回り不動産証券ファンド19,942,168円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース（毎月分配型）4,184,518円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）12,952,078円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・

コース（毎月分配型）4,981,569円、ダイワU S 短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／年1回決算型）199,295円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし（毎月分配型）99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース（毎月分配型）99,771円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジあり）20,016,725円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジなし）4,000,959円、ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド49,850,449円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズー 日本円・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズー 豪ドル・コース（毎月分配型）99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズー ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズー ミドル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズー 通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイII－ 予想分配金提示型 日本円・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイII－ 予想分配金提示型 豪ドル・コース2,492,026円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイII－ 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイII－ 予想分配金提示型 ミドル・コース19,936,205円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイII－ 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース11,961,723円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,039円です。

■損益の状況

当期 自2013年12月10 日 至2014年12月 9 日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 利 益	423,234円
受 取 取 息	423,234
(B) 有 価 証 券 買 入 損 益	2,048
売 出 買 入 損 益	2,048
(C) 当 期 損 益 金 (A＋B)	425,282
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	2,803,343
(E) 解 約 差 損 益 金	△1,321,868
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,271,622
(G) 合 計 (C＋D＋E＋F)	3,178,379
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	3,178,379

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月 1 日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- 書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- 投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- 書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。